

アドセンスポリシーに 関する注意事項



contents

| | |
|--------------------|---|
| アドセンスポリシーとは？ | 2 |
| Google公式ガイドブックを確認！ | 3 |
| ポリシー違反となる禁止行為 | 4 |
| 禁止されているコンテンツ | 6 |
| 気をつけるべきこと | 7 |

はじめに

【推奨環境】

このレポート上に書かれているURL はクリックできます。

できない場合は最新のAdobeReaderをダウンロードしてください。(無料)

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

【著作権について】

- このレポートは著作権法で保護されている著作物です。
- このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。
- 使用者は本冊子から得た情報を、 著者の事前の許可なく一般に公開する事を禁止します。
- このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。

著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、 見解の変更等を行う権利を有します。

- このレポートの作成には万全を期しておりますが、

万一誤り、 不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、

一切の責任を負わないことをご了承願います。

- このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

アドセンスポリシーとは？

アドセンスポリシーとは、アドセンスを利用して稼ぐ以上は守らなくてはならないルールのことです。

Googleは広告主から広告費というお金を受け取り、私たちがその広告を広めることで報酬を得ています。

ですから、

- ・ 広告を掲載するのにふさわしくないサイト
- ・ 企業のイメージダウンに繋がるようなサイト

「このようなサイトには
大切なお客さんの広告を載せたくない！」

とGoogleは思っているわけです。

そうならないために守るべきルールとして

アドセンスポリシーがあります。

ポリシーに違反するとアカウントの停止処分になる場合がありますが、どんな行為がポリシー違反なのか見ていきましょう。

Google公式ガイドブックを確認！

Googleが公式にポリシーに関するガイドブックを
発表しているので、まずはこちらを熟読しましょう。

[Google AdSense プログラムポリシーガイドブック](#)



ダウンロードして繰り返し読むことをオススメします。
この先はこのポリシーガイドを読んだ前提で進めていきます。

ポリシー違反となる禁止行為

では、具体的にやってはいけない

行為にはどのようなものがあるのでしょうか？

・自己クリック

自分のブログに貼っている広告を自分でクリックすることはもちろんアウトです。

「家族や友達にお願いすれば…」と思うかもしれませんが、

相手は天下のGoogle先生。

私たちが思いつくような不正行為には対策済みです。

具体的なアルゴリズムは私にはわかりませんが、不正行為はすぐにバレてしまいます。

変な気は起こさない方が身のためです... (笑)

・ クリック誘導

ガイドブックにも記されていますが、
「広告をクリックしてください」というような、
クリックを誘発するような行為は禁止です。

また、

- ・ 画像と広告が近いこと
- ・ クリックできるリンクが近いこと

なども禁止です。

広告とコンテンツの違いが分かりにくくならないように、
ユーザーが純粋な興味で広告をクリックするように
しなければいけません。

ですから、広告と記事の間には2～3行の改行を
挟んで設置するようにしましょう。

禁止されているコンテンツ

以下の内容が含まれる記事に

アドセンス広告を貼ることは禁止されています。

- ・ アダルト コンテンツ
- ・ 個人、集団、組織を誹謗中傷するコンテンツ
- ・ 著作権で保護されているコンテンツ
- ・ 薬物、アルコール、タバコに関連したコンテンツ
- ・ ハッキング、クラッキングに関連したコンテンツ
- ・ 報酬プログラムを提供するサイト|「報酬提供」 サイト
- ・ **Google** ブランドを使用しているサイト
- ・ 暴力的なコンテンツ
- ・ 武器および兵器に関連したコンテンツ
- ・ その他の違法なコンテンツ

あなたのブログ記事に上記の内容が含まれて

いないかどうか気をつけましょう。

アダルト、薬物、兵器は特に厳禁です。

気をつけるべきこと

「殺」という字が入っているものや暴力的な表現

「自殺」などは一発アウトです。事件系のネタを扱う時には使う表現が過激にならないように気をつけましょう。

例えば、寿命で亡くなった場合に使う「死」と、
凄惨な事件で亡くなった場合に使う「死」は異なります。

後者は「悲劇的なコンテンツ」という分類がされます。
このようなデリケートなネタは扱わないのが1番ですが、
書く場合には、使用する画像も含め

「子供が見てショックを受けるかどうか」

が1つの判断基準になります。

内容が悲劇的でない場合は「死因」なども使って大丈夫ですが、
ショッキングな内容になりそうな場合はやめておきましょう。

アダルトと“見なされる”表現

水着画像を使ったりすること自体は違反ではありませんが、
「セクシー」など、性的な表現が含まれてしまうとアウトです。

ここに関しては具体的な境界線があいまいなので、
危ない橋は渡るべからず、**水着画像は使わないようにしましょう。**
水着でなくとも、谷間が見える画像なども使うべきではありません。

知り合いで、「虫の交尾」の話でアカウント停止処分になつた話を聞いたことがあります。

このように思わぬところで処分が下る可能性もあるので、
「カップ数」の話を書いているブログも見かけますが、
リスクを避けて書いていくのが無難です。

他人を誹謗中傷する表現

こちらでも事件系のネタを扱う際に気をつけたいところなのですが、あくまでも「記事は中立で書く」ということを意識してください。

どんなに残忍な人について書いていたとしても、

「この人は最低ですね」というような書き方をしてはいけません。

個人の人格を否定するような表現は使わないようにしましょう。

中立な立場でありながら自分の意見も書いていくというのは簡単ではないかもしれませんが、自信がなければそういうネタは扱わない方がいいでしょう。

発行者：いずみ

ブログ：<http://gezumi.jp/>

メール：info@gezumi.jp

メルマガ：[いずみのアドセンス講座](#)